

「わたしたちの体育」を利用した学習事例（第2学年）

高松市立屋島東小学校 佐伯 健太

第2学年	単元名	とびっこあそび
指導時間	7時間	児童書掲載ページP36～P39

【単元の目標】

- ・とびっこ遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、助走をつけて片足で踏み切り、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができる。
- ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を友だちに伝えられる。
- ・順番や決まりを守り誰とでも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気をつけたりすることができる。

【安全にみんなが運動できるように・・・はじめに約束しよう、確認しよう】

- ・安全に取り組むために「前に人がいないのを確認して跳ぶこと、走る場所に危険がないかを確認すること」の2つを毎時間確認してから始める。
- ・練習する場所の安全が保たれているかを確認する。
- ・段ボール箱（踏切調節板）やケンステップ、ラダーなどを使って練習する際には、跳び方を確認するため、最初はゆっくりとした動きから始めるように助言する。

【学習活動 第1時～第7時】

第1時

①学習の目標と進め方を知る。

1. 学習の目標とどのように学習を進めるのかを説明する。

学習の 目標	○あそび方を 知り 前や 上に とんだり つけて とんだり することができるように しよう。
	○友だちの よい うごきや 楽しい あそび方を見つけて つたえよう。
	○きまりを まもって 友だちと なかよく あんぜんに あそぼう。

②用具の使い方について知る。

2. 跳びっこ遊びで使う用具等の使用方法を確認する。

- | | | |
|---------------|------|------|
| ・段ボール箱（踏切調節板） | ・ラダー | ・マット |
| ・ケンステップ | ・ゴム紐 | |
| ・とび箱一段目 | ・コーン | |

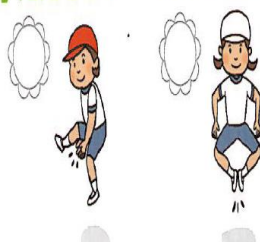
③きまり、学習の場、安全面について知る。

3. 児童書P54の「きまり」を確認する。
準備や片付けについて確認する。
安全管理を徹底する。



④「やってみよう」を行う。

手たたきとび 足うちとび



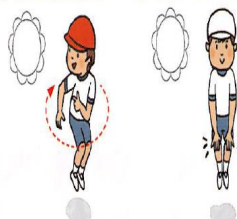
① 手たたきとび

- ・ひざを上げて片足で上方へジャンプ。背中は伸ばした状態を意識させる。

② 足うちとび

- ・両足着地。けががないように徐々に跳ぶ高さを上げていく。

かいてんとび ひざタッチとび



③ かいてんとび

- ・回転してジャンプしても、転ばずに着地する。まずは、半回転。できたら一回転に挑戦する。

④ ひざタッチとび

- ・上方へ膝を上げて高くジャンプする。

⑤学習のまとめをする。

4. 「学習のあしあと」の使い方を説明する。

※友だちとの関わりの中でできるようになったことを振り返りで気付くようにする。

第2～4時

①準備運動を行う。

②めあてを確認する。

③「やってみよう」で、跳び方を確認する。

④活動1・2・3を行う。

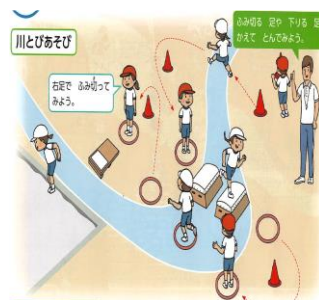
- ・川とび遊び、ケンパー遊びをメインで遊ぶ。
- ・ゴムとびあそびは、上記の2つの遊びに併せて、取り入れる。

リズムよくとぶにはどうすればいいの？

本時のめあてを意識し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

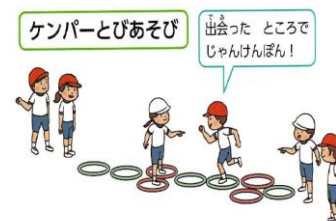
1. 【川とびあそび】

- ・片足や両足での色々な跳び方・着地を経験する。
- ・片足跳びや両足跳びを身に付けることをねらいとする。



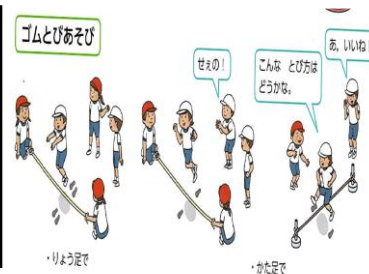
2. 【ケンパーとびあそび】

- ・片足や両足で、色々な間隔に並べられた輪を連続して跳ぶことで、リズムよく跳ぶことの良さを知る。
- ・慣れてきたら、距離を伸ばしたりじゃんけん等を取り入れたりすることで楽しみながら学べるようにする。



3. 【ゴムとびあそび】

- ・両足跳び・片足跳び・横跳びなど色々な向きや跳び方に慣れ親しむことをねらいとする。
- ・跳ぶ人に合わせて高さを変えたり、友だちにアドバイスをしたりする場を設定する。



⑤気付いたことやできるようになったことを伝え合う。

⑥共有したポイントを意識してもう一度活動1・2・3を行う。

⑦本時のまとめをする。

教師が声掛けをすることで、意識してほしいところに気付くようにする。

リズムよくとぶにはどうしたらいいかを導く問い

「リズムよく跳ぶために工夫したことはどんなこと？」

「どんなアドバイスをすると、うまくいった？」

「足をどう動かせばいいのかな？」

第5時

- ①準備運動を行う。
- ②「やってみよう」で、跳び方を確認する。
- ③めあてを確認する。
- ④「やってみよう」を行う。
- ⑤「とびっこチャレンジ」を行う。

- ⑥うまくいったことや工夫して跳んだことを伝え合う。
- ⑦自分なりの跳び方の工夫をいれて2回目のクリアを目指す。
- ⑧本時のまとめをする。

第6時

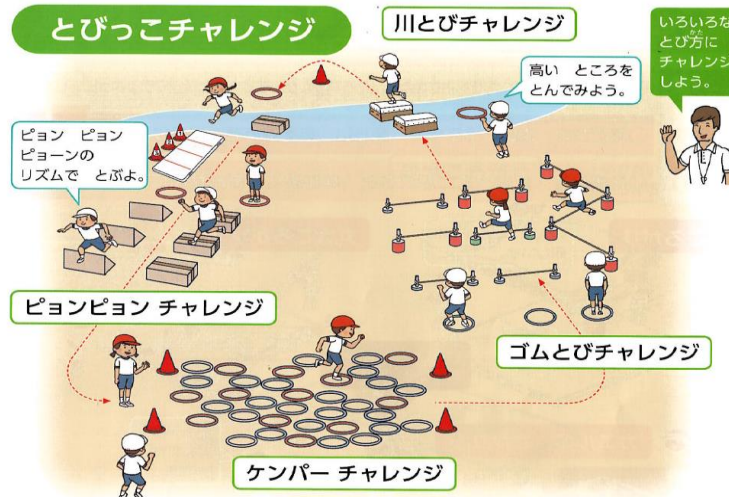
- ①準備運動を行う。
- ②「やってみよう」で、跳び方を確認する。
- ③めあてを確認する。
- ⑦本時のまとめをする。

第7時

- ①準備運動を行う。
- ②「やってみよう」で、跳び方を確認する。
- ③めあてを確認する。

色々な跳び方を使って、ゴールを目指そう

- ・とびっこチャレンジに挑戦する。「先生が作ったコースをクリアできるかな。」



- ・2～4時間目で行った活動を合わせて、教師がコースを作ること子どもたちの意欲を高める。
「〇〇さんの動きは～みたいで面白かったね。」
「ほかに工夫した跳び方を見つけられた人はいる？」
- ・友だちのよい動きを全体で共有する。
- ・学習活動のまとめをし、次時は、自分たちで各コースを工夫して作ることを伝える。

全員が楽しく遊べる跳びっこチャレンジコースを考えよう

- ・3～4つのコースに分かれて道具の置き場を考える。(教師のコースを基準に)
- ・試しとびをしてから話し合い、よりよいコースを作る。
- ・次時に再現できるように写真で記録しておく。
- ・「学習のあしあと」を参考に学習を振り返り、個人・チームの伸びや頑張りを称賛し、単元のまとめをする。

自分たちが作った跳びっこチャレンジコースに挑戦しよう

<p>④自分たちで作った「跳びっこチャレンジコース」で遊ぶ。</p> <p>⑤全体でコースを体験してそれぞれの良さを話し合う。</p> <p>⑥2・3回目に挑戦する。</p> <p>⑦学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのよい動き・コースの工夫を全体で共有する。 「コースで工夫していたのでどこかな。」 「空中での動きを工夫しているのは誰かな。」 「自分ならどんな跳び方をするかな。」
---	---

【評価の観点】

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・とびっこ遊びの行い方を知っている。 ・助走を付けて片足で踏み切り, 前方や上方に跳ぶ遊びができる。 ・片足や両足で連続して跳ぶ遊びができる。
思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫している。 ・考えたことを友だちに伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・とびっこ遊びに進んで取り組もうとしている。 ・順番や決まりを守り誰とでも仲良く運動をしようとしている。 ・勝敗を受け入れようとしている。 ・場や用具の安全に気をつけようとしている。

【学習を通しての児童の反応, 児童の感想】

児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・両足跳び, 片足跳び, 横跳び等いろいろな跳び方をするので, 楽しんで運動に取り組むことができた。 ・低学年は, 自分が何をどこに準備すればいいのかを示しておかないと用意することが難しかった。 ・初めて自分たちで用具の準備を行ったが, 用具を安全に運ぶ, 協力して運ぶ等, 決まりを守って活動できていた。
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・両足で跳んだり, 片足で跳んだり, 回転して跳んだりと色々な跳び方ができて, 楽しかった。 ・いろいろな道具を跳び越えるのが楽しかった。 ・たくさん活動することができて, 楽しかった。 ・自分たちで色々なコースを作って, 跳んだのがよかった。 ・みんなで協力してコースの準備・片付けができた。

【「わたしたちの体育」を活用した学習について】

<ul style="list-style-type: none"> ・教師用指導書 P36～39Pの「展開例」を参考に本単元の学習展開を考えるとともに, 36Pのきまりを単元初めに指導することによって, 安全・安心な学習を展開することができた。また, 39Pの「とびっこチャレンジ」を自分たちで作ることで, 普段の活動よりも意欲的に取り組む姿が見られた。 ・課題として, 跳ぶ場を準備するのに時間を要するので, 事前に準備したり, 学年で時間をそろえて取り組んだりする工夫が必要。
